

# おしどりミニだより



OMI CHIROBAKAI

桜の開花予報では今年は例年より早い開花だと報じていました。おしどりの近隣の桜をみますとギューッと堅く閉じていたつぼみが膨らんでいるように感じます。春は一步一步確実に来ているようです。新型コロナウイルス感染症は少し落ち着いたように思いますが油断は禁物です。感染対策は怠らず日々を過ごしてまいります。今月もよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人近江ちいろうば会  
地域密着型介護

デイケアの家おしどり

2023年3月

## 出来る事を生き生きと

この冬、おしどりでは毛糸を使った活動を行いました。

「昔は子供らにセーターを編んで着せていた、その服が小さくなったら解いて編みなおしていた」との利用者さんの言葉に「昔を思い出して編んでみませんか？」とお誘いしてみました。

「もうあかんわ、目が見えにくくなったし、手も痛いし、細かいことが面倒くさくなったわ」とそれぞれの理由で気持ちが向かない方がおられました。

「それならくさり編みだけでもしてみませんか？」の声掛けに「くさり編みだけならできるかもしれないなあ、やってみようか」と少し気持ちが前向きになられて、たくさんの毛糸の中から「この色ええな、こっちもいいで、あんたこれどうや」とだんだん意欲が上がり好みの毛糸を手にとり手が動き出しました。網目がきれいに揃うと「うまいこと編めてるやん、あんた上手やなあ」と利用者様同士の会話も弾みました。

男性は広告紙を丸め輪っかにして下さり、その輪っかに毛糸の鎖編みを巻き付けて輪投げの輪を制作してくださいました。この輪は午後の遊びリテーションの道具となり楽しく使っています。皆さんの連携のもと作られた道具を使っただけの活動は一段と盛り上がります。また壁飾りやペン立ての材料としても毛糸の鎖編みが活躍しています。

これからも様々なことに利用者さんの今ある力、潜んでいる力を見つけ出して楽しめる活動につなげていきたいと思います。お一人おひとりが出来ることに参加されて達成感や充足感を感じていただき、今日も楽しかったと思っていただける日々をともに送りたいと思います。



## 生活リハビリと遊びリテーションで心も体も機能維持しています。

午前中は一人一人の想いでやりたいことや興味のあることにチャレンジされています。例えば裁縫や編み物、小物作り、塗り絵、おやつ作り、調理、ウォーキング等です。一人ではできないことも一緒にする仲間がいて、声を掛け合い励ましあいつつ楽しい時間がともに過ごせています。

午後はみんなで楽しく体を動かそうと二年前から始めた**遊びリテーション！**声をだすことで気持ちが活性化され、個人戦やグループ戦で楽しむことで、競争心を掻き立てられてワクワクする時間を持っています。そういった時間を持つことで心と体のバランスが維持できています。



暖かい日が増えてきました。ウォーキングでは梅の花が咲いているのを見つけて喜ばれていました。そして「青空も綺麗やね」と会話も弾みます。

室内でもゲームや折り紙、小グループで歌を歌ったりおやつを作ったりそれぞれに楽しい時間をすごされています。

